

土づくりセミナー ～ BLOF理論 実践編 ～

一般社団法人日本有機農業普及協会 理事長
株式会社ジャパンバイオフィーム代表取締役

小祝 政明



■略歴

中学・高校生時代に食品添加物が原因で体に変調をきたし、自然食療法で治療。食材の形は同じでも中身に違うことに気づき、26歳から日本全国を津々浦々安全な作物を生産している生産者を訪ね、現場で学習。その後、茨城で自ら土地を購入し、米・野菜づくり実験に7年間取り組む。またその後、オーストラリアと筑波で微生物が有機物を分解し、その有機物が再度有機物になっていくシステムを学ぶ。現在は、有機肥料の販売、コンサルティングの(株)ジャパンバイオフィーム(長野県伊那市)代表を務めながら、経験やカンに頼るだけでなく客観的なデータを駆使した有機農業の実践を指導している。

■メッセージ

作物はきれいにそろっていれば良かった時代は過ぎ、有機栽培の時代に入ろうとしています。今後、環境問題やコスト削減という視点からも土壌分析の必要性は高くなると思いますが、本当に大切なことは生産者自身が土や資材の勉強をし、土壌分析や施肥設計をする。またこれを1回で終わらせるのではなく、毎作毎年積み上げ、設計の微調整を繰り返しながら自らの施肥体系を確立することだと考えます。

令和8年1月16日(金)14:00～16:00

〔受付:13:00～ 群馬会館2階ロビー(正面玄関から入り2階へお上がりください。〕

講師 (一社)日本有機農業普及協会 理事長 小祝政明氏

場所 群馬会館ホール(群馬県前橋市大手町2-1-1)

対象 群馬県内の生産者、農業団体職員、市町村職員など

定員 350名(要事前申込)

申込方法 以下URLまたは右記QRコードから申し込み

<https://forms.office.com/r/g4KryxdstU?origin=lprLink>



※切 令和8年1月9日(金) ※定員に達し次第受付を終了します。